

## 概 要

9-vinylcarbazole を含む試験溶液に藻類を 72 時間暴露し、50% 生長阻害濃度 (ErC<sub>50</sub>) および最大無影響濃度 (NOECr) を求めた。設定濃度 19.8、29.6、44.4、66.7 および 100 µg/L の 5 濃度 (公比 1.5、溶解助剤として DMF を使用) の試験溶液中の被験物質濃度は、暴露開始時でそれぞれ 17.4、26.8、37.5、62.7 および 102 µg/L、暴露 72 時間後ではそれぞれ 2.86、3.14、9.77、18.8 および 16.7 µg/L であった。設定濃度に対する割合は暴露開始時で 84.5~102%、暴露 72 時間後で 10.6~28.2% となり、変動は 20% 以上であった。これより、平均測定濃度を暴露期間中の被験物質濃度として 50% 生長阻害濃度 (ErC<sub>50</sub>) を算出した。

暴露 72 時間における生長速度より求めた 50% 生長阻害濃度 (ErC<sub>50</sub>) および最大無影響濃度 (NOECr) を以下に示す。

算出方法	暴露期間	ErC <sub>50</sub> (µg/L)	95% 信頼限界 (µg/L)	NOECr (µg/L)
設定濃度	0-72 時間	46	40~53	<19.8*
平均測定濃度		21	18~24	<8.05*

\* : DMF 対照区と比べ全濃度区で有意差が認められたため、試験最低濃度区より小さいとした。

## 緒 言

9-vinylcarbazole を含む試験溶液に藻類を 72 時間暴露し、50% 生長阻害濃度 (ErC<sub>50</sub>) および最大無影響濃度 (NOECr) を求めるため、以下に従って試験を実施した。

厚生労働省医薬食品局長、経済産業省製造産業局長及び環境省総合環境政策局長通知「新規化学物質等に係る試験の方法について」(平成 15 年 11 月 21 日付け薬食発第 1121002 号、平成 15・11・13 製局第 2 号、環保企発第 031121002 号、最終改正：平成 18 年 11 月 20 日) に記載された藻類生長阻害試験

## 実験材料および方法

### 1. 被験物質

名 称 : 9-vinylcarbazole  
 化学名 : N-Vinylcarbazole  
 CAS No. : 1484-13-5  
 分子式 : C<sub>14</sub>H<sub>11</sub>N  
 分子量 : 193.24  
 ロット番号 : S8ROC

構造式 :

